

公益社団法人 日本臨床細胞学会  
平成 27 年度(2015 年度)第 3 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 21 日(土) 7 時 20 分～9 時 50 分  
場 所：名古屋国際会議場 第 10 会場 会議室 234(2 号館 3F)

役員総数： 40 名(理事 40 名, 監事 3 名)

出席総数：理事 36 名

(理事長) 青木大輔 (理事) 紀川純三, 越川卓, 植田政嗣, 佐藤之俊, 池田徳彦, 石井保吉, 伊藤仁, 井上健, 榎本隆之, 岡本愛光, 小田瑞恵, 加来恒壽, 加藤久盛, 河原栄, 川本雅司, 小西登, 小松京子, 齋藤豪, 生水真紀夫, 白石泰三, 竹島信宏, 寺本勝寛, 内藤善哉, 長尾俊孝, 中村直哉, 平井康夫, 広岡保明, 藤井多久磨, 前田一郎, 森井英一, 森谷卓也, 八重樫伸生, 山城勝重, 横山繁生, 横山正俊

(監事) 佐々木寛, 長谷川壽彦

(総務委員会幹事) 柿沼廣邦, 垣花昌俊, 富永英一郎, 星利良, 町田知久, 丸田淳子, 山下博

(細胞診専門医会会長) 土屋眞一

(制度審議委員陪席) 平田哲士

欠席者：(理事) 伊藤潔, 稲山嘉明, 落合和彦, 羽場礼次

(監事) 長村義之

(総務委員会幹事) 所嘉朗

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り, 池田徳彦総務委員長が議長となった。

議長は定款第 34 条に則って, 理事総数の過半数(36 名)の出席により定数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り, 議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが確認された。

理事長挨拶：青木大輔

第54回平成27年(2015年)秋期大会会長挨拶：越川卓大会長

## 1. 理事長報告：青木大輔

### 1) 平成 27 年度・28 年度の委員会構成について

先般の理事会にて各委員会の委員長を決定し, その後, 先生方に大変お世話になり,

各委員会の委員を決定させて頂いた。委員の決定については重複等の種々の問題が生じ調整がいつも難航するが、先生方にご協力いただき委員会構成を決定することができた。

## 2) 事務局との連携について

本学会が順調に活動を行っていくためには事務局の存在は大変大きいと認識している。しかし、以前より事務局との意思疎通の悪さが問題となっており、委員会との意思疎通を良好にしたい。このため、各委員会担当の事務局員を明確にし、第3回理事会資料として各担当一覧を配布した。各担当の事務局員が各委員会委員長の先生と対になり情報が事務局に伝わるようにして頂きたい。

## 3) 専門医制度について

専門医制度については本学会にとって大変なことであり、植田副理事長を中心に細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループを立ち上げ、勢力的に活動をして頂いている。ワーキンググループでは制度設計をして頂いているという認識である。制度が変わると運用も変わり、色々なところに歪みがでてくることが予想される。問題点が生ずることがあれば、各委員会の委員長の先生方に是非調整をして頂ければと思っている。

## 4) ホームページの改修について

前回の理事会でも申したように、会員とのコミュニケーションをもっと活発にしたいが、本学会のホームページについては、なかなか良いものが出来ずにいた。このため、伊藤情報処理委員長と事務局に出向き、検討・審議し、おおよその方向性を詰めてきた。この詳細については後ほど伊藤委員長より報告して頂く。是非とも良いものが出来ることを願い、学会の大切なツールとして活用していきたいと思っている。

## 5) マイナンバーについて

来年の1月1日からマイナンバー制度となる。このため、本日、取り扱いについて早急にご了解を頂きたく資料を用意した。後程、議論して頂きたい。

## 2. 副理事長報告

紀川純三：学術、編集、国際交流、IACを担当する。学術担当の副理事長として、今後、秋期大会と春期学会との整合性、あり方を検討していきたい。

越川 卓：認定試験、検査士、教育を担当する。現在の活動状況に関しては、各委員会委員長の報告をもって、ご了解して頂きたい。

植田政嗣：専門医制度、専門医を担当する。今後、どのように細胞診専門医制度を改革・推進していくかが問題となっている。専門医制度は日本専門医機構の要請に基づいて改革していかなければならない。現在は、従来から認定されていた基盤学会の19学会と、サブスペシャリティ学会の29学会が再承認を受けている。それらの承認後、本学会が筆頭に挙げられており、来年の10月頃

には本学会が認証されると予想される。それまでに、本学会が認定されやすい状態に運用面も含めて整備していかなくてはならない。細胞診専門医会のあり方委員会、細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ、細胞診専門委員会、施設認定制度委員会と協力して整備を進めていき、この1年間で認証される方向へ努力していきたいと思う。

佐藤之俊：総括、財務、渉外を担当する。現在の各部門の進捗状況については、各委員会委員長の報告をもって、ご了解頂きたい。学会の基本的な部分を遂行していくので、今後ともよろしく願致します。

### 3. 平成 27 年度総務庶務報告（池田徳彦 総務委員会委員長）

全会員数：12,113名（医師会員 4,649名、技師会員 7,437名、図書会員 27件）

細胞診専門医数：実数 2,746名（認定数 3,262）

F I A C：105名 M I A C：38名

細胞検査士数：実数 7,300名（認定数 9,151）

C T（I A C）：4,826名

物故会員（2015年10月30日現在）

（正会員）

名誉会員 滝 一郎 先生

功労会員 井上 正樹 先生（金沢大学医学部 産婦人科）

日浦 昌道 先生（(医)団仲会 奥島病院 婦人科）

丸山 雄造 先生

医師会員 恵良 一郎 先生（球磨郡公立多良木病院 産婦人科）

（準会員）

細胞検査士 大嶋 洋一 殿（(株)エスアールエル沼津ラボラトリー）

伊藤 幸子 殿

千葉 暢子 殿（東邦大学医療センター大森病院 病院病理部）

松本 律男 殿（熊本市立熊本市民病院 臨床病理科）

黙禱

### 4. The 19th International Congress of Cytology（略称：ICC2016）準備状況：（青木大輔理事長）

会期：2016年5月28日（土）～6月1日（水）（5日間）

場所：神奈川 パシフィコ横浜

### 5. 第 57 回平成 28 年（2016 年）春期大会準備状況：（青木大輔理事長）

会期：2016年5月27日（金）、28日（土）、29日（日）

場所：神奈川 パシフィコ横浜

第 19 回 IAC 国際細胞学会（ICC2016）と合同開催

6. 第 55 回平成 28 年(2016 年)秋期大会準備状況：(横山繁生理事)

会期：2016 年 11 月 18 日(金)，19 日(土)

場所：大分 B-ConPlaza (別府国際コンベンションセンター)

7. 第 58 回平成 29 年(2017 年)春期大会準備状況：(植田政嗣副理事長)

会期：2017 年 5 月 26 日(金)，27 日(土)，28 日(日)

場所：大阪 大阪国際会議場

8. 第 56 回平成 29 年(2017 年)秋期大会準備状況：(加来恒壽理事)

会期：2017 年 11 月 18 日(土)，19 日(日)

場所：福岡 福岡国際会議場

9. 各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会 (委員長 池田徳彦)

[報告事項]

1. 平成 27 年度・28 年度の委員会構成を調整・完成させ理事へ配布した。
2. 日本医学会からの連絡事項をホームページへアップロードし，理事に周知した。
3. 一般社団法人シンクパールの活動に後援許可した(金銭的サポートでは無く名義のみ)。
4. マイナンバー制度の扱いについて  
各会員のマイナンバーを学会が把握していかなければならない。この会員のマイナンバーの管理に関する事，個人情報取り扱い規定，特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針，マイナンバーを取り扱う外部者と事務局との契約内容等については，今後，中田会計事務所，理事長，各関係委員会と相談し，決定していく。

[審議事項]

1. 地域連携組織のホームページ等での学会マークの使用許可について  
地域連携組織等にて学会マークを使用する際は使用許可を事前に事務局にすることが提案され，承認された。
2. 口腔細胞診ワーキンググループの経費について  
口腔細胞診ワーキンググループの活動は終了しているが，活動報告の論文化についての費用を本学会が負担することが提案され，承認された。
3. 喀痰細胞診に関する日本肺癌学会とのワーキンググループに関して  
資料に沿って，これまでのワーキンググループの活動内容およびメンバー構成についての説明があり，ワーキンググループの継続とそのメンバー構成，およびワーキンググループの合同研究の成果についての日本臨床細胞学会誌への掲載が承認された。
4. 会員資格復帰希望者について  
会員資格の復帰希望者が 6 名おり，いずれも免許停止前の滞納年会費の完払と理事長の承諾という内規上の基準をみたしており，希望者全員の会員資格復帰が承認され

た。

5. 細胞学会事務局の電話回線の増線について  
事務局への連絡が円滑に行われるように電話回線を 5 回線にすることの提案およびその工事費用についての説明があり、承認された。

#### 情報処理委員会（委員長 伊藤仁）

##### 〔報告事項〕

1. 学会 HP の改修が完了した。
2. 2015 年 9 月 1 日よりマイページが始動した。
3. マイページのログイン率は 2015 年 10 月 29 日現在で 28.43%である。
4. 私的な情報開示請求があったが、理事長判断により対応はできないという結果となった。
5. 10 月 26 日（月）に細胞学会事務局において、青木理事長、山下幹事、池上事務長とリニューアルされた HP の検証を行った。その結果、HP のデザイン・項目名・項目に含まれる内容など全体的に大幅な修正が必要との指摘をうけ、現在再検討中。その費用についても見積もりを要請中である。
6. 英文 HP については、2015 年 10 月中に準備を終了させ、11 月公開を目標に進めていたが、5 の再検討とともに検討中である。

##### 〔審議事項〕

1. 再修正に関する費用について  
HP の再修正に関する費用の見積もりが資料に沿って説明され、承認された。
2. 情報処理委員会からの積極的な情報メール発信について  
本学会の up to date な情報が得られるよう、情報処理委員会にて定期的に HP 内容についてチェックし、さらに雑誌発刊、関連学会情報など様々な情報をメールで積極的に発信していくことが青木理事長より提案され、承認された。

#### 学術委員会（委員長 内藤善哉）

##### 〔報告事項〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の選考について
  - 1) 学会賞・技師賞・班研究課題の応募について、イエローページおよびホームページに掲載した（応募締切：2015 年 7 月 8 日（水））。
  - 2) 10 月 1 日（木）学術委員会選考会を開催し、規定に則り慎重に選考を行った。結果は施行細則に則り、理事長に報告された。

##### 選考結果

学会賞（応募者 2 名）：医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院 佐々木寛氏

技師賞・学術部門（応募者 2 名）：東海大学医学部付属東京病院 病理診断科

松井成明氏

技師賞・功労部門（応募者1名）：日本医科大学多摩永山病院 病理診断科  
片山博徳氏

班研究課題（応募者2編）：該当者無

以上の推薦候補者はすべて承認された。

2. 最優秀論文賞の応募について

11月頃よりイエローページおよびホームページにて応募要項を掲載予定。

応募期間は2016年1月中旬から2月中旬を予定している。

3. 各種選考に関し、規定以外の具体的な選考方法などにつき内規を作成することとなった。

〔審議事項〕

特になし

計理委員会（委員長 岡本愛光）

〔報告事項〕

1. 次年度開催される学術集会事務局へ準備金の送金を行った。

1) 第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会） 680万円

2) 第55回日本臨床細胞学会秋期大会 510万円

2. 第19回 IAC 国際細胞学会用に積み立てていた定期預金を解約し、大会事務局へ準備金2,000万円の送金を行った。

3. 2015年11月2日秋の監査会を行い、第56回総会（春期大会）の決算報告について確認を行った。学術集会の決算書類提出期限については検討中である。

4. 学術集会会計について、勘定科目が最初からわかるようにしてほしいとの希望があった。今後、予算・決算報告用のひな形を大会事務局に送付する予定である。

5. 事業の収支報告

学会全体の運営について、管理部分が赤字となっており、事業の黒字をもって全体の収支が少額の赤字（または収支金額が同じ）となっている。

事業については赤字事業もあり、今後内容の確認を行い、会場費など経費削減が出来る箇所の努力を行うようにする。経費削減をしても赤字の場合は、受講料等の値上げについても考える予定である。

6. 報酬等の支給及び支出基準

「報酬等の支給及び支出基準」についての内規中に、試験等での連泊時に支払う食事代等の規定が決められていない。今後、これらの金額等をどのようにしていくか、規定を追加していく予定である。

〔審議事項〕

特になし

## 編集委員会（委員長 竹島信宏）

### 〔報告事項〕

#### 1. Acta Cytologica

特定非営利時代より、カルガージャパンという会社を通し Acta Cytologica を 2 冊購入。（各¥140,146 合計¥280,292）

1 冊：日本医学会へ寄与                      1 冊：学会事務局で保管

年間購読費用の削減とスペースの減少により事務局分の Acta Cytologica の購入中止。

※日本医学会との取り決めで製本版を 1 冊寄与することになっている。

#### 2. 投稿論文（2015 年 9 月 18 日時点）

##### 調査対象期間

2014 年投稿論文：113                      2015 年投稿論文：61

##### 採用率

2014 年投稿論文：73.5%                      2015 年投稿論文：29.5%

#### 3. 査読委員の見直し作業の実施。

### 〔審議事項〕

#### 1. 日本臨床細胞学会製本版の編集委員への配布について

編集委員に配布する年間の製本費用の見積もりが資料に沿って提示され、審議した結果、編集委員への製本版の配布は行わないこととなった。

#### 2. 日本臨床細胞学会雑誌の電子化に伴う ID およびパスワードの設定について

現段階では 2015 年以前の学会誌は無料で閲覧できる。2015 年以降の学会誌についての ID およびパスワードの必要性を審議した結果、それらの設定については編集委員会に一任することとなった。

#### 3. 評議員の査読義務について

次期からの評議員就任の条件に査読義務を入れることの提案、それに対する評議員における施行細則の改定案が提示され、いずれも承認された。ただし、査読を行うことに対するインセンティブについては、今後の検討・審議事項となった。

#### 4. 図書会員についての取り決めについて

本誌の電子化に伴い、図書会員の会費の改定が提案され、減額にする方向にて検討し、審議することとなった。

## 細胞診専門医委員会（委員長 齋藤豪，植田政嗣副理事長）

### 〔報告事項〕

#### 1. 平成 27 年度細胞診専門医資格認定試験

1) 細胞診専門医資格認定試験日時および場所：2015 年 11 月 29 日（日） AP 浜松町  
第 54 巻 2 号から 4 号イエローページならびにホームページにて公告

申請期間：2015 年 8 月 1 日～8 月 31 日

- 2) 9月27日(日)に受験資格審査会を行い、受験予定者125名(総合科116名、歯科口腔科9名)を決定した。
  - 3) 細胞診専門医資格認定試験実施要項について  
当初、昨年に引き続き解答用紙もOCR(光学文字認識)を使用する予定だったが、マークシート方式に変更した。さらに、遅刻入室不可の記載を加えた案内を受験生へ封書とマイページで周知徹底した。
2. 細胞診専門医資格更新について  
現時点における細胞診専門医資格更新は資格取得後4年ごと  
平成27年度の資格更新対象者：専門医番号0684-0773, 1102-1170, 1387-1446, 1647-1710, 2029-2159, 2477-2577, 2850-2961  
第54巻2号からイエローページならびにホームページにて公告
  3. 平成27年度第2回理事会にて承認された細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループを発足した。

〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会教育研修認定施設再構成について  
日本専門医機構の要請の1つに、「各地域において基幹施設と連携施設とを設け、基幹施設の周囲に連携施設を配置し、研修施設部門を形成すること」とある。このため、現在の305の日本臨床細胞学会教育研修認定施設を癌診療連携拠点病院か否かにより、172の基幹施設と133の連携施設に分けることが提案され、詳細に審議した結果、その方向性で整理していくことが承認された。
2. 細胞診専門医資格更新制度改革について  
資料に沿って細胞診専門医資格更新制度案およびそれに関する施行細則案が提示され、承認された。また、この細胞診専門医資格更新制度は、平成27年度資格取得者および更新者から実施していくことが承認された。
3. E-learningシステムについて  
資料に沿って、E-learningシステムの実施方法の検討結果について報告があった。E-learningを希望する専門医が、「マイページ」から申し込んで事務局から送付されるDVDを聴講し回答を返送する方法が提案され、承認された。

施設認定制度委員会(委員長 長尾俊孝)

〔報告事項〕

1. 委員会内構成について  
教育認定施設WG, 施設認定・年報WG, 外部精度管理WG, 内部精度管理WG, の4WGで構成される。
2. 平成27年度教育研修施設新規申請について  
9施設を審査後認定し、認定証を発送した。



徳島市民病院，鳥取市立病院，鳥取大学医学部附属病院，兵庫県立がんセンター，大分県立厚生連鶴見病院，医療法人社団こころとからだの元氣プラザ，国保直営総合病院君津中央病院，和歌山県立医科大学附属病院，順天堂大学医学部附属浦安病院  
結果は日本臨床細胞学会雑誌第 54 巻第 5 号イエローページに会告として報告予定。

3. 平成 26 年度新規認定施設申請について

8 施設を審査後認定し，認定証を発送した。

J A 山口厚生連周東総合病院，地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院，東京医科歯科大学医学部附属病院，社会医療法人杏嶺会一宮西病院，医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院，医療法人藤井会石切生喜病院，社会医療法人敬和会大分東部病院，神戸赤十字病院

結果は日本臨床細胞学会雑誌第 54 巻第 5 号イエローページに会告として報告予定。

4. 平成 26 年度年報提出状況（提出締切 2015 年 3 月 31 日）

全 863 認定施設中 提出済 804 施設 (93%) 未提出 41 施設 (5%) 廃止 18 施設 (2%)

5. 内部精度管理（実地調査）について

内部精度管理 WG（山城勝重 WG 長）のもとで，3 施設を対象として実施（2015 年 9 月～10 月）。調査の結果，1 施設が B 評価となったが，いずれの施設も細胞診業務に意欲的であり，施設認定を継続する予定である。

6. 認定施設更新業務

平成 26 年度認定施設更新 対象施設 684 施設

更新可 556 施設 (81.3%) 更新可として新認定証を送付済。

未完了 21 施設 (3.1%) 理由：年報未提出、更新料未納、未申請 91 施設 (13.3%)，更新辞退認定廃止 16 施設 (2.3%)

7. 教育研修施設更新業務

平成 27 年度教育研修施設更新 対象施設 5 施設

更新可 5 施設 (100%) 更新可として新認定証を送付済。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士委員会（委員長 加藤久盛）

〔報告事項〕

1. 平成 27 年度（第 48 回）細胞検査士資格認定試験

総受験者：679 名（うち 108 名は 1 次試験免除），1 次試験志願者：572 名。

1 次試験（2015 年 10 月 31 日（土） CIVI 研修センター新大阪東にて実施）

2 次試験（2015 年 12 月 12 日（土）および 13 日（日）東京富士大学にて実施）

2. 平成 27 年度細胞検査士試験問題作成委員会

3 回の委員会を開催し，筆記試験および細胞像試験の問題を作成した。